



**BAUME & MERCIER**  
MAISON D'HORLOGERIE GENEVE 1830

## クリフтон ボーマティック コレクションに5つの新モデルが登場

新しい5つのモデルには、ボーマティックキャリバーBM13バージョンを搭載。精度、技術、洗練されたデザイン、そしてボーム&メルシエが189年間培ってきた時計製造の専門技術とモダンなデザインが融合したタイムピースです。

今年は、ピンクゴールド製ケースとグラデーションを施したブルーのダイヤルがこのコレクションに加わります。クリフтон ボーマティックは、パフォーマンスとイノベーションを常に求める、明確なテイストと鋭い美意識を持った方に自信をもってお薦めできる時計です。

### クリフтон ボーマティック COSC ピンクゴールド

ゴールドのリベット式インデックスが温かみのあるホワイトダイヤルに施されています。陶磁器を思わせる仕上げのダイヤルは18Kピンクゴールド製のケースと美しく調和します。交差するチャコールグレーのラインが、COSC（スイス公認クロノメーター検定協会）認証を取得していること示します。同じくチャコールグレーの秒針が、ゴールドの時針、分針と美しいコントラストを織りなします。ピンクゴールド製ポリッシュ/サテン仕上げの39mmケースをご用意があり、高い精度とクラシックなエレガンスをお求めの男性に相応しいウォッチです。

商品番号 : 10469

### クリフтон ボーマティック ブルーダイヤル

ブルーのグラデーションを施したダイヤルに、ホワイトのミニッツトラックとロジウム加工の針をアクセントにしたモデル。40mmのステンレススチール製ケースは、調和のとれた美しいラインを描きます。COSC（スイス公認クロノメーター検定）認証モデルのダイヤルには控えめな白い文字でその旨が記載されます。

クリフтон ボーマティック ブルーダイヤルは、ピンバックルを備えた交換可能なブラックアリゲーターレザーストラップ、そして両開き式のステンレススチール製5連ブレスレットをご用意しています。

オリジナルなテイストが漂うこの自動巻きモデルは、あらゆるシチュエーションでお使いいただけます。

商品番号 : 10510 (レザーストラップ)、10511 (ステンレススチール)、COSCモデル10467 (レザーストラップ)、COSCモデル10468 (ステンレススチール)



**BAUME & MERCIER**  
MAISON D'HORLOGERIE GENEVE 1830

### デザインとディテール

各モデルのダイヤルには3時位置に大きめのウィンドウに日付表示を備え、反射防止加工を施したドーム型サファイアクリスタルが高い視認性を保証します。

サファイアクリスタル製のケースバックからは、サーキュラーグレイン装飾のブリッジや、梨地とスネイル仕上げの地板など、キャリバーの洗練された仕上げを見ることができます。透かし模様を施したステンレススティールまたはゴールドトーンのタングステン製回転ローターには、コート・ド・ジュネーブとスネイル仕上げの装飾が施されています。インカブロックは、ボーム&メルシエのシンボルであるファイを模っており、メゾンが追求する完璧性を彷彿させます。

レザーストラップは付け替えが簡単なため、色のバリエーションをお楽しみいただけます。

### ボーマティック キャリバー

自動巻きムーブメント、ボーマティックBM13-1975Aは、優れた信頼性を保証します。パワーリザーブ120時間（5日間）に加え、高い精度を維持します（COSC認定モデルでは日差-4/+6秒）。また、日常生活における磁場に耐えうる耐磁性を備え、従来のウォッチが3～5年ごとのメンテナンスを必要としているのに比べ、クリフトン ボーマティックウォッチのメンテナンスは7年ごとで構いません。この傑出した性能は高級時計を愛する方々より高い評価を頂いています。

### ボーム&メルシエ

1830年にスイス・ジュラ地方で創業して以来、ボーム&メルシエは技術とデザインにおける革新性を中核として時計製造に取り組んできました。「妥協を許すことなく、最高品質の時計だけを作る」をモットーに、189年間培われてきた伝統を継承するボーム&メルシエは、スイス時計業界における先駆者といえるでしょう。日々の生活のパートナーとなる、時代に沿った高性能なウォッチを開発することにより、国際的な名声を得てきました。

### 技術における革新性

時計製造技術における革新性を追求するボーム&メルシエは、1840年にジュラ地方で初めて、時計の信頼性と堅牢さに革命をもたらしたレピンキャリバーを導入しました。レピンキャリバーの採用は製造過程に変革をもたらしボーム&メルシエを成功へと導くこととなりました。

19世紀後半には国際的に知られるメゾンとなります。ボーム&メルシエはクロノグラフとグランドコンプリケーション、特に、ミニッツリピーターと永久カレンダー、トゥールビヨンで高く評価されています。この頃ボーム&メルシエのタイムピースは、数々の賞を獲得しています。1880年にメルボルン、1885年にロンドン、そして1893年にシカゴで開催された国際展示会で金メダルを受賞しました。1892年にはトゥールビヨンを採用したクロノメーターによって、イギリスのキュー天文台のコンクールで精度の記録をすべて塗り替えるという快挙



**BAUME & MERCIER**  
MAISON D'HORLOGERIE GENEVE 1830

を果たしました。この記録は10年間破られることはありませんでした。

1920年代と1930年代には、ボーム&メルシエは、当時のウォッチとしては最も薄いウルトラスリムウォッチを提案します。そして1965年、偏心ローター「ロト・プラネテール」を搭載した薄型自動巻きムーブメントを開発。これはカレンダー機能を搭載した自動巻きウォッチでは、当時最も薄いものでした。

ボーム&メルシエは音叉時計によってそのモダン性を確固たるものとしており、1970年代末に訪れたクォーツ危機、さらには液晶などのデジタル時計の出現にも動じることはありませんでした。

1986年「アバンギャルド」コレクションでは、加工が難しい素材であるタングステンカーバイドをケースとブレスレットに採用する、世界でも非常に珍しいブランドの一つとなりました。またボーム&メルシエは、18Kゴールドをブレスレットに取り入れた唯一のブランドで、当時、これは新しい試みでした。

2018年には、ムーブメントの革新性と時計製造における伝統を融合し、自社製キャリバーボーマティック BM12-1975A を搭載したクリフトン ボーマティック コレクションを発表。革新的なムーブメントにより、デザインと先端技術を融合したブランドの専門性を改めて世に知らしめることとなりました。

2019年、ボーム&メルシエは自社製キャリバーの新バージョン BM13-1975A を発表。この新バージョンは品質の点で妥協することなくお客様の要望にお応えしたいというメゾンの約束を表現するものです。